



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 福山通運株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9075 URL http://www.fukutsu.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 小丸 成洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務統括部長 (氏名) 佐藤 義宏 TEL 084-924-2000  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	71,685	△2.0	4,288	△36.4	5,077	△30.9	3,381	△31.5
2023年3月期第1四半期	73,162	2.1	6,738	6.7	7,348	6.3	4,938	5.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 9,647百万円 (58.7%) 2023年3月期第1四半期 6,077百万円 (5.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	83.56	—
2023年3月期第1四半期	122.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	482,345	278,610	57.0	6,791.93
2023年3月期	477,015	270,381	55.9	6,589.57

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 274,898百万円 2023年3月期 266,701百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	143,500	△1.3	8,600	△26.4	9,400	△23.9	6,100	△24.3	151.32
通期	295,600	0.8	19,300	△9.7	21,000	△8.6	13,900	△33.1	343.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	50,770,363株	2023年3月期	50,770,363株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	10,296,122株	2023年3月期	10,297,078株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	40,473,487株	2023年3月期1Q	40,471,958株

※期末自己株式数には、「株式付与E S O P信託口」が保有する当社株式（2023年3月期1Q148,897株、2024年3月期1Q146,042株）が含まれております。また、「株式付与E S O P信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式に含めております（2023年3月期1Q149,392株、2024年3月期1Q146,903株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行するなど、経済活動の正常化に向けた動きが見られ、景気回復に期待が寄せられました。一方で、物価上昇による消費者マインドの悪化や回復傾向にあるインバウンド消費も、一部の国からの訪日客数の回復遅れが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

貨物自動車運送業界におきましては、経済活動の正常化に伴う物流の回復が期待されたものの、企業の価格転嫁による商品価格の高騰もあり、期待されたほどの消費回復には至らず、貨物輸送量は低調に推移いたしました。加えて、燃料価格の上昇や2024年問題への労働環境の改善などのコスト増加要因もあり、厳しい経営環境にあります。

このような状況のもと当社グループにおきましては、ドライバー不足がより一層深刻化するなか、集約拠点の整備、高速自動仕分機の導入による幹線輸送の効率化と輸送モードの多様化に加え、荷役分離によるドライバーの作業軽減など2024年問題への対策を強化するとともに、お客様ニーズにお応えできる輸送体制の構築に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は716億85百万円（前年同四半期比2.0%減）、営業利益は42億88百万円（前年同四半期比36.4%減）となり、経常利益は50億77百万円（前年同四半期比30.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は33億81百万円（前年同四半期比31.5%減）となりました。

セグメント別に見た事業の概況は次のとおりであります。

運送事業におきましては、輸送ルートの最適化を目的とした取扱貨物情報のデジタル分析やダブル連結トラックの積極的な導入などによる幹線輸送の効率化と自社配送エリアの見直しによる翌日配達エリアの拡大を進め、輸送品質の向上とサービスの拡充に努めてまいりましたが、商品価格の上昇など消費活動の下押し要因などもあり、貨物輸送量は低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は620億54百万円（前年同四半期比2.1%減）、営業利益は39億63百万円（前年同四半期比36.8%減）となりました。

流通加工事業におきましては、拡充している施設を活用した複合一貫輸送サービスの提供を中心とした積極的な営業と稼働率の向上による売上の拡大に努めるとともに、外注人件費の単価や光熱費の上昇などのコスト増加に対応した単価改定を行い、利益の確保に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は53億24百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益は8億13百万円（前年同四半期比6.2%減）となりました。

国際事業におきましては、コンテナ不足を起因とした国際物流の混乱が正常化したことに伴い、高騰していた海上運賃も下落傾向となり、売上高は低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は26億55百万円（前年同四半期比15.4%減）、営業利益は1億41百万円（前年同四半期比27.7%減）となりました。

その他事業におきましては、新規連結による工事収入の増加や国内外の団体旅行の回復により、商品販売収入が増加いたしました。

以上の結果、売上高は16億51百万円（前年同四半期比11.3%増）、営業利益は3億1百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて53億30百万円増加し4,823億45百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が25億53百万円減少したことなどにより流動資産が36億30百万円減少しましたが、投資有価証券の時価評価により投資その他の資産が増加し、固定資産が89億60百万円増加したことによります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて28億99百万円減少し2,037億34百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が増加したことにより流動負債が60億42百万円増加しましたが、長期借入金が増加したことにより固定負債が89億42百万円減少したことによります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて82億29百万円増加し2,786億10百万円となりました。これは主に利益剰余金が19億60百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が62億23百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月15日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	44,892	43,779
受取手形及び売掛金	39,038	36,485
その他	4,546	4,579
貸倒引当金	△48	△44
流動資産合計	88,429	84,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	263,695	263,556
減価償却累計額	△174,092	△175,197
建物及び構築物(純額)	89,602	88,358
機械装置及び運搬具	113,986	114,795
減価償却累計額	△97,990	△98,622
機械装置及び運搬具(純額)	15,995	16,172
工具、器具及び備品	16,220	16,211
減価償却累計額	△12,944	△13,123
工具、器具及び備品(純額)	3,275	3,088
土地	211,720	211,722
建設仮勘定	8,746	9,602
有形固定資産合計	329,341	328,945
無形固定資産		
その他	4,454	4,451
無形固定資産合計	4,454	4,451
投資その他の資産		
投資有価証券	47,515	56,299
繰延税金資産	4,511	4,902
その他	2,937	3,121
貸倒引当金	△175	△174
投資その他の資産合計	54,789	64,149
固定資産合計	388,585	397,546
資産合計	477,015	482,345

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,950	14,419
短期借入金	10,700	10,702
1年内返済予定の長期借入金	21,673	31,409
リース債務	147	165
未払法人税等	7,196	2,433
未払消費税等	3,149	3,747
賞与引当金	5,070	1,764
その他	14,658	19,946
流動負債合計	78,546	84,589
固定負債		
長期借入金	68,748	57,637
リース債務	210	214
繰延税金負債	9,840	12,075
再評価に係る繰延税金負債	23,573	23,573
退職給付に係る負債	24,141	24,091
関係会社事業損失引当金	3	—
資産除去債務	490	491
その他	1,078	1,059
固定負債合計	128,087	119,145
負債合計	206,633	203,734
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,310	30,310
資本剰余金	37,634	37,633
利益剰余金	183,483	185,443
自己株式	△37,465	△37,461
株主資本合計	213,962	215,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,184	25,407
土地再評価差額金	34,150	34,150
為替換算調整勘定	86	77
退職給付に係る調整累計額	△683	△664
その他の包括利益累計額合計	52,738	58,972
非支配株主持分	3,680	3,712
純資産合計	270,381	278,610
負債純資産合計	477,015	482,345

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	73,162	71,685
売上原価	64,407	65,383
売上総利益	8,755	6,302
販売費及び一般管理費	2,017	2,014
営業利益	6,738	4,288
営業外収益		
受取配当金	629	746
補助金収入	10	5
その他	88	151
営業外収益合計	728	902
営業外費用		
支払利息	77	71
災害復旧費用	24	28
その他	14	13
営業外費用合計	117	113
経常利益	7,348	5,077
特別利益		
固定資産売却益	38	41
関係会社事業損失引当金戻入額	18	3
特別利益合計	56	44
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	35	147
投資有価証券評価損	—	9
特別損失合計	36	156
税金等調整前四半期純利益	7,368	4,965
法人税、住民税及び事業税	3,159	2,287
法人税等調整額	△806	△703
法人税等合計	2,352	1,583
四半期純利益	5,015	3,381
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,938	3,381
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	△0
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	993	6,252
為替換算調整勘定	33	△5
退職給付に係る調整額	34	18
その他の包括利益合計	1,062	6,265
四半期包括利益	6,077	9,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,986	9,615
非支配株主に係る四半期包括利益	91	32



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,356	5,181	3,140	71,679	1,483	73,162
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	1,866	1,866
計	63,356	5,181	3,140	71,679	3,349	75,028
セグメント利益	6,271	866	195	7,333	324	7,657

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業、物品販売事業及び労働者派遣事業(委託業務)等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,333
「その他」の区分の利益	324
全社費用(注)	△919
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	6,738

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	62,054	5,324	2,655	70,034	1,651	71,685
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	1,842	1,842
計	62,054	5,324	2,655	70,034	3,493	73,527
セグメント利益	3,963	813	141	4,917	301	5,219

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業、物品販売事業及び労働者派遣事業(委託業務)等を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,917
「その他」の区分の利益	301
全社費用(注)	△930
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	4,288

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。